

長楽館の家具調度品について

千木良 礼子

はじめに

この度、長楽館の建物及び家具の調査をする機会を得た。長楽館は昭和61年(1986)に京都市指定有形文化財として建物と家具(附)が指定されている。建物については、『京都市の文化財—京都市指定・登録文化財第四集—』(1987)にて報告されているところであるが、家具については公表されていない。当課では、昭和60年(1985)に長楽館ほか2件の家具の調査を有限会社小泉和子生活史研究所に依頼し、「京都市内近代洋風建築家具調査報告書」(1985)(以下、「昭和60年報告書」)を作成していただいたが、その内容は当課で保管するのみとなっている。この機会に改めて調査を実施したところ、昭和60年の調査時では確認できなかった当初の家具があったこと、状態が良くなく、廃棄されたものもあること、また新たに大正期の図面「村井家京都別邸平面図 縮尺百分之壱 荒木建築事務所」を確認することができた。そこで、これまでの既往調査や、刊行物などを取りまとめ、新しい知見を交えて報告することとした。

まず、次節以降で、昭和60年報告書から、当時の調査の目的、調査内容、調査組織のうち、長楽館に該当する部分を抜粋、編集して掲載する。

1 調査の目的

本調査の目的は、直接的には京都市文化財保護条例に基づき指定、登録した近代洋風建築又は指定、登録予定の近代洋風建築において使用されていた家具を、附として指定又は登録するための調査である。だがそれだけではない。本来、家具と建築とは密接不可分のものである。家具が備えられてはじめてその建築は人間が使えるものとなる。これは和風建築に比較して洋風建築の場合とはとくにそうである。にもかかわらず、従来は建築に付属する家具については調査研究が遅れている。このため基礎的資料も充分整っていない。ところが一方では残存家具が急速に失われている現状である。早急に残存家具の調査を行い、家具史を体系化する必要がある。そのための基礎資料を得ることも目的の一つである。

2 調査内容

調査内容は家具調査と関係資料調査の二つに分かれる。家具調査は調査対象建物の中に残存する全家具の中から、様式、材料、仕上げ法、関係者からの聞き取り、関係資料等によって、

- イ、建築当初に備えられた家具
- ロ、建築が当初の使用目的で使われている

た期間に備えられた家具

ハ、以上に準ずるものを選び出し、その個々について写真撮影、寸法計測を行い、家具の種類、品名、数量、寸法、材料、様式・特徴、当初の置き場所、状態、修理方法、などについて調査し、調査カードに記入した。

写真撮影はモノクロとカラーによって正面、側面、背面、斜めの各角度から撮影をし、さらに仕口、形態などに特徴あるものについては細部の撮影を行った。

寸法計測は、間口、奥行き、高さについて各最大値を計測した。

家具の種類は次のような分類による。

(屏障) 屏風、衝立、暖炉前衝立、カーテン、壁掛

(坐臥) 椅子、腰掛、寝台、寝具

(机卓台) 桌子、机、台

(収納) 箆筒、ひつ、棚、サイドボード、書棚、衣桁、帽子掛、傘立て

(暖房) ストープ、暖炉付属品

(照明) ペンダント、ブラケット、シーリングライト、スタンド、堤灯

(容飾・沐浴) 鏡、鏡台、化粧台、洗面付属品

(雑) その他

材料については主材についてだけ記入し、塗装などの仕上げ法についてもわかるものについては記した。

当初の置き場所の確定については家具調査の結果及び関係資料により行った。

状態についてはその程度に応じて、良好、良、可の三段階で示し、傷みのあるものについては具体的に破損箇所を示した。

修理方法については個々の状態に応じて

簡単に示した。

関係資料調査は、関係者、研究者等からの聞き取り、資料提供及び図書館、資料館、記念館等の調査を行い、家具の所蔵されている建物について、

イ、建物関係資料（図面、仕様書、見積書、決算書、写真類、設計者）

ロ、家具関係資料（図面、仕様書、見積書、決算書、購入先、購入金額、備品台帳、写真類、設計者）

ハ、建物の性格、歴史、変遷、居住者

ニ、家具の使われ方の歴史、変遷などについて調査を行った。

3 調査組織と報告書の作成

(組織)

調査は生活史研究所代表・小泉和子が京都市より委託を受けて、京都大学工学部建築史研究室及び京都市文化財保護課の協力のもとに行った。

調査員 小泉和子

調査協力 石田潤一郎（京都大学助手）

中川 理（京都大学大学院）

熊本達也（京都大学大学院）

橋爪紳也（京都大学大学院）

猪又規之（京都大学大学院）

事務局 新谷昭夫（京都市文化財保護課）

調査は小泉和子が中心になって行い、家具の選択、寸法計測、状態、修理方法などの査定、聞き取りなどを調査し、調査カードに記録し、他の調査員は主として写真録影を行い、調査全体の計画、進行、事務処理などの総括は新谷昭夫が行った。

(日程)

1985年10月19日・20日

(報告書の作成)

本報告書の執筆は小泉和子、家具復元配置図は小泉和子の分析にもとづき橋爪紳也が作成した。(以上、「昭和60年調査報告」)

4 建物について

上記のような家具調査とともに、建物調査を行い、昭和61年(1986)、長楽館は京都市有形文化財として指定された。以下に示すのは指定時の説明文である。

「長楽館は、「たばこ王」と称された明治時代の実業家村井吉兵衛が円山公園の一角に建てた別荘で、その名称は伊藤博文が宿泊した折に付けたものである。工事は、設計・監督をアメリカ人技師 J. M. ガーディナーが担当し、清水満之助が請け負って(棟札)、明治38年(1905)11月に着手され、同42年6月に竣工した(『合資会社清水組京都支店工事経歴書』)。また室内装飾は、東京の杉田商店、京都の河瀬商店が分担し、壁画は高木誠一の筆になると伝える(『藤井善助傳統篇』)。

大正3年(1914)には3階の和室が、外部ガーディナー、内部大島盈株の設計、清水組京都出張所の施工により改造され(『建築工藝叢誌』第2期第14冊、前掲工事経歴書)、また戦後米軍に一時接收され、その際設備等が一部改修された。さらに、近年の修理においてサンルームの屋根をガラスから鉄板に改め、2階南面の露台に建

具を嵌めるとともに、一部内装の改変が行われた。

建物は、煉瓦造の3階建て一部地下を設け、屋根は勾配の緩い寄棟造の天然スレート葺で、東面して建ち、正面にイオニア式の玄関ポーチを付ける。外壁は、蛇腹が各層を水平に区切り、1層目は石貼り仕上げとするが、上2層にはタイルを貼り隅にコーナーストーンを置いて壁面を引き締め、全体に装飾をおさえ、簡素で平滑な外観となっている。

内部は、1階と2階には中央の広間を中心としてそのまわりに各室が配され、1階は広間の北寄りに客間、球戯室(半地下)、書斎を並べ、南寄りにはサンルームと食堂を置く。2階は貴婦人室、美術室と3室の客室から成り、また喫煙室を中2階に設けてその前には露台を張り出す。

1階の客間は、壁面を上端円形のパネルで区画して楕円形の風景画を嵌め、暖炉まわりや壁パネル、天井には植物文様のレリーフを飾り、壁から天井への移行部を丸くするなど、ロココ様式を基調とし、最も華麗で見ごたえのある部屋となっている。また、食堂と貴婦人室はルイ16世風、広間はルネッサンス風、喫煙室は中国風と、部屋で様式が異なる。

3階は和室となり、中3階には書院風の茶室も設ける。なかでも3階東北の2室は書院造風で、北室は上段を構え、横に花頭窓を開けた付書院と違棚を矩折りに並べ、更に反対側には平書院も備えて、南室を次の間とする。共に格縁漆塗の折上格天井を張り、室境内法上には箴欄間を装置する。この座敷の豪華なつくりと漸新な座敷飾り

はみごとである。

長楽館は、内部の凝った意匠に見るべきところがあり、規模も大きく、明治時代後期における和洋折衷の住宅建築の代表例として価値が高い。

また、建築当初の家具が多数残っている点も注目される。これらの家具はロココ様式、ルイ16世様式、ルネッサンス様式、中国式で、それぞれ部屋に合った様式の家具が配置されていた。ロンドンのメイプル(MAPLE)製をはじめ、大半が高級な輸入品で、意匠的にも優れており、美術工芸的な価値も高い。」

5 史料について

それでは、今回の調査で参照した史料について整理しておきたい。

史料は大きく以下の3点を取り上げる。

1つ目は、古写真が多く掲載されている『京都圓山 長楽館 村井別邸 THE CHORAKKAN, MR MURAI' S VILLA, MARUYAMA PARK KYOTO.』と題されたアルバムである。村井吉兵衛から藤井善助宛で、建物が竣工したので記念の写真帳を送るとい手紙¹⁾があることから、このアルバムは村井が明治42年(1909)12月に長楽館竣工後、明治43年(1910)1月に各関係者へ送ったものであるといえる。アルバムには刊行年の記載がない。アルバムは複数種類あるようで、写真の変更はないものの、表装が異なること、「東京印刷株式会社印行」の記載の有無や、喫煙室の漢字が「烟」と「煙」の2種類あり、「煙」の字体が他の文字と異なることから、「烟」から

「煙」に改訂されたと思われる(本稿では「竣工アルバム」とする)。

2つ目は、荒木建築事務所による「村井家京都別邸平面図 縮尺百分之壺」(個人蔵²⁾)である。青焼きの図面で地下から3階までの平面図が描かれている。荒木建築事務所は長楽館が竣工した明治42年(1909)ではガーディナー事務所主任をしていた荒木賢治による事務所と思われる。荒木は大正9年(1920)頃に独立したとされる³⁾こと、また長楽館関連の史料として、大正11年(1922)4月20日付エレベーター注文請書(個人蔵²⁾)の宛名に村井長楽館と荒木賢治の名前があることから、この青焼き図面は大正11年頃のものと思われる(本稿では「大正期の図面」とする)。

3つ目は、「副 長楽館/什器備品台帳/永田町/村井家」(個人蔵⁴⁾、本稿では「備品台帳」とする)である。昭和60年調査時にもこの史料が確認されていたが、当課ではコピーの保管のみで所有者が不明であった。今回大正期の図面を確認する際に、同じ所有者であることが判明した。備品台帳は、室名が異なることもあり、竣工アルバムや大正期の図面よりも後ではないかと思われる。

昭和60年の調査時は、竣工アルバムと備品台帳のみであったが、今回、大正期の図面を含めて検討した。大正期の図面は、村井吉兵衛が使用していた時代であり、かつ現状の平面に最も近いものであることから、室名には大正期の図面を採用し、竣工アルバム記載の室名は()で記した。

6 調査結果と考察

今回の調査では、昭和60年報告書を基本として、家具の点数を再調査し、新番号をあてて修正した。掲載する表及び図の番号は全て新たにあてた番号である。

(1) 残存状況

イ. 現存家具の総数は65点（令和5年8月時点）で、個々の家具のデータは表1に記載した通りである。

ロ. 種類別内訳は表2の通りである。

ハ. 内容は次の通りである。

- ・ 記載した家具の殆どは建築当初の家具である。
- ・ 様式は、主要部分はロココ様式、ルイ16世様式、ヴィクトリアンで、その他はチッペンデル、ルネサンス調や折衷表のもの、また喫煙室は中国式である。
- ・ 技術的にはきわめて高く、精巧に作られていて、美術工芸的な家具である。
- ・ 国産品は東京の杉田商店の製品である。
- ・ 様式家具は大部分が輸入品と考えられる。このうち長40・44・45・46にはメイプル（MAPLE）のプレートがある。メイプルはロンドンのトテナムコートにある老舗の家具室内装飾の専門店であった（1997年倒産）。明治末頃に資本金4千万、従業員7千万という大きな店であった。日本の洋家具の草創期に何人かの日本人がここに修行に行っている。日本のデパートで最初に洋家具を扱いはじめた三越でも、店員の林幸平をこのメイプルに派遣して

修業させている。

(2) 家具配置の復元

当初の長楽館の室内・家具についての史料としては、以下のものがある。

- ・ 竣工アルバム
- ・ 「備品台帳」（表1では「備」）
- ・ 大正期の図面

これらに加えて若干の写真がある。このうち最も時期の早いものが竣工アルバムで、これは建築竣工時に作成したものと思われる。備品台帳は年号がないが、喫煙室が支那室に変えられた後のものである。アルバムと備品台帳とでは室名が多少違っている（『グラフィック』1（14）1909年8月では既に「支那間」と記載されるので、早い時期に喫煙室から呼び名が変わったと思われる）。そこで、現存する家具とアルバムに写っている家具及び備品台帳の家具の三種を照合することによって、当初の家具配置の一部を復元できる。しかし、アルバムと備品台帳にも出てこない家具が多数あったはずであり、その中の一部は現存している。これについては、その家具の用途とデザインにより、推定復元を行うことになる。この場合、幸い長楽館は、各室それぞれがかなりはっきりと様式主義に基づいて作られており、しかもカーテンボックスやマントルピース、鏡、天井などがよく残っているため、これと家具の様式とを対照することによって、比較的容易にもとの家具配置を推定復元することができる。そうして推定復元した当初の各家具配置は表3及び図1の通りである。

また表4は備品台帳より作成した室別の家具リストである。

むすびにかえて

最後に昭和60年報告書に記された「家具の価値」という文章を紹介し、稿を終えることとする。

「東京の岩谷松平とならんで煙草王といわれ、京都で様式煙草の製造に成功した村井吉兵衛の別邸としての記念碑的意味が大きいこと。村井吉兵衛は、京都のみならず、日本の近代産業史上における一人の重要な人物であることからいっても、この建物は近代史上の一つの重要な資料である。その場合、中に家具があることによって、より一層村井の生活、思想などの背景がより明確に示されるものとなり、歴史的価値が高い。

家具そのものが意匠的にみて美術工芸的価値が高いこと。輸入品と国産品があるが、輸入品の場合は、外国製品としてもかなり高級なものを輸入している。これはまた1909年当初のヨーロッパの様式家具の水準を示すものとして意味をもつ。

国産品についても美術工芸的価値の高いことは同様であるが、これが東京の杉田商店の製品である点にまた重要な意味がある。杉田商店は、日本最初で最大の洋家具商であり、日本近代洋家具史上重要な位置を占めている。一種の政商的存在で、とくに伊藤博文や村井吉兵衛とも親交があっ

た。ついでにいうと、京都府庁の家具は杉田商店が製造し、村井吉兵衛が寄付したものである。杉田商店は当時の日本の重要な家具の家具・室内装飾を大部分手がけていたが、はっきりと杉田製であることがわかって残っているものは少ない。長楽館の場合は、杉田製であることがわかっているので、日本における洋家具の技術導入過程が伺える点でも、価値が高い。

日本における洋風様式建築及び家具として、これだけレベルの高いもので、しかもまとまって残っている例は、きわめて少ない。とくに住宅では少ない。」

謝辞

この度、長楽館の家具について現地調査をする機会を得ることができ、株式会社長楽館にお礼申し上げます。これまで小泉和子氏の調査報告書を公表できないかと長年思っていたところ、このような機会を得ることができ、大変有り難く存じます。数々の史料から家具の配置まで復元されたことについて、今回その作業を辿ることで大変な作業だったのだと改めて感じました。小泉和子先生には当時の調査資料を惜しみなくお貸しいただき、深く感謝申し上げます。また、新たな史料調査についてご協力、ご快諾いただきました内海愛子様及び川田恭子様にお礼申し上げます。

ちぎら れいこ
千木良礼子 (文化財保護課 文化財保護技師 (建造物担当))

註

- 1) 熊川千代喜 (1939) 『藤井善助伝 続編』
p.112に記載。また文面は同じだが宛名が別の
手紙の写しが長楽館に保管されている。
- 2) 荒木建築事務所による「村井家京都別邸平面
図 縮尺百分之壺」と大正11年(1922)4
月20日付エレベーター注文請書はまとまっ
て保管されていた。史料の閲覧は史料所有者
である内海愛子氏と史料整理をされた川田恭
子氏のご厚意による。
- 3) 松波秀子 (1996) 「宣教師・教育者・建築家
としてJ.McD. ガーディナー」『住宅建築』7月
号
- 4) 註2とあわせて保管されている。

表1 家具の一覧

旧台帳 番号	市附 指定	新番号	種類	品名	数 量	寸法(mm)			材料	様式及び特徴	年代	置場所(時期)	備考
						W	D	H					
02-01		長1	屏障	ファイアー スクリーン	1	670	300	1115	チーク	ロココ調、輸入品	1909	客間(当初)	備品台帳(205)
02-03		長2	屏障	ファイアー スクリーン	1	665	320	1085	チーク、緞子	ルイ16世風、輸入品	1909	夫人室カ (当初)	当初布
"02-05 02-06"		長3	坐臥	長椅子	2	1580	670	920	チーク、馬毛詰め	ロココ調、輸入品	1909	客間(当初)	脚部にラベル「第拾壹号緞子張腰掛椅子十六脚ノ内式」。アルバム掲載。長3～9までセットとして備(214)に記載。
02-08		長4	坐臥	二人用腰掛	1	1250	600	710	チーク、緞子張、馬毛詰め	ロココ調、輸入品	1909	客間(当初)	脚部にラベル「(欠け) 緞子張腰掛椅子十六脚ノ内十二」アルバム掲載、備(214)
02-09		長5	坐臥	S字椅子	1	1200	550	720	チーク、馬毛詰め	ロココ調、輸入品	1909	客間(当初)	アルバム掲載、備(214)
02-10		長6	坐臥	肘掛椅子	2	640	600	920	チーク、馬毛詰め	ロココ調、輸入品	1909	客間(当初)	アルバム掲載、備(214)
02-11		長7	坐臥	袖付小椅子	2	600	640	860	チーク、馬毛詰め	ロココ調、輸入品	1909	客間(当初)	アルバム掲載、備(214)
"02-12 02-13"		長8	坐臥	小椅子	4	500	550	880	チーク、馬毛詰め	ロココ調、輸入品	1909	客間(当初)	アルバム掲載、備(214)
02-14		長9	坐臥	足置台	2	435	335	150	チーク、緞子張、馬毛詰め	ロココ調、輸入品	1909	客間(当初)	脚部にラベル「第拾貳号緞子張足掛式個ノ内志」[(同左)式]、アルバム掲載、備(214)
02-15		長10	坐臥	腰掛(ウイ ンドシート)	1	700	400	620	チーク	ルイ16世風、輸入品	1909	夫人室(当初)	アルバム掲載、備(155)
02-17		長11	坐臥	コーナー 椅子	2	550	545	595	チーク	ルイ16世風、輸入品	1909	夫人室(当初)	脚部にラベル「第百●五号緞子●腰●九●ノ内●」、「第一七五号緞子裂張椅子腰掛九脚ノ内七」、アルバム掲載、備(155)
02-18		長12	坐臥	肘掛椅子(ベ ルジェール)	1	620	620	885	チーク	ルイ16世風、輸入品	1909	夫人室(当初)	アルバム掲載、備(214)
-		長13	坐臥	回転椅子	1	640	620	725	チークカ	ルイ16世風カ	1909	書斎(当初)	アルバム掲載、備(229)
02-19	○	長14	坐臥	寝椅子	1	1700	600	670	ブラジリアン ローズ、 コーバル ニス 仕上	ビクトリアン、 象 嵌、 輸入品	1909	西寢室カ (当初)	備(191)カ
02-20	○	長15	坐臥	肘掛椅子	1	600	700	835	ブラジリアン ローズ、 コーバル ニス 仕上	ビクトリアン、 象 嵌、 輸入品	1909	西寢室カ (当初)	備(191)カ

表1 家具の一覧

旧台帳 番号	市附 指定	新番号	種類	品名	数量	寸法(mm)			材料	様式及び特徴	年代	置場所(時期)	備考
						W	D	H					
02-21	○	長16	坐臥	丸座肘掛椅子	1	550	650	600	ブラジリアンローズ、コーパルニス仕上	1909	西寢室カ(当初)	備(191)カ	
02-24	○	長17	坐臥	寝椅子	1	1550	680	760	サクラ	1909	不明	アルバム東客室と同型だが色が違う	
02-27		長18	坐臥	小椅子	2	460	455	1000	シタン	1909	不明		
02-32	○	長19	坐臥	長椅子	3	1490	520	760	カエデ、タモ、コーパルニス仕上、レザー(クッション)	1909	一階広間(当初)	アルバム掲載、杉田商店と考えられる	
02-33	○	長20	坐臥	長椅子	1	1120	355	810	カエデ、タモ、コーパルニス仕上、レザー(クッション)	1909	一階広間(当初)	アルバム掲載、杉田商店と考えられる	
02-34	○	長21	坐臥	長椅子	1	1830	650	1050	シタン、大理石	1909	支那室(当初)	アルバム掲載	
02-35	○	長22	坐臥	寝台	1	1560	2085	1490	チーク、寄木、サクラ柱、コクタン	1909	東寢室(当初)	ラベル「第一五〇号寄木寝台二人用台」、備(158)、解体して保管	
02-37		長23	机卓台	角卓子	1	1200	760	690	チーク	1909	客間(当初)	ラベル「第二百十二」「第拾号甲単羅紗口長机老脚」	
02-38		長24	机卓台	小卓子	2	600	600	690	チーク	1909	客間(当初)	アルバム掲載、備(212)	
02-39	○	長25	机卓台	花台	1	360	355	1055	チーク、大理石	1909	客間(当初)	アルバム掲載、備(211)	
02-40	○	長26	机卓台	花台	2	510	500	695	チーク、大理石	1909	客間(当初)	アルバム掲載、備(211)	
02-41		長27	机卓台	角卓子	1	1040	740	760	シタン	1909	北寢室(当初)	アルバム掲載、備(208)	
02-42		長28	机卓台	角卓子	1	1420	870	760	サクラ、アイボリー仕上	1909	東寢室カ(後)	天板裏にラベル「台拾参号甲大理石四方台式個ノ内巻」「村井」、アルバム掲載、備(204)	
02-43		長29	机卓台	楕円卓子	1	1470	900	720	サクラ、スギ	1909	食堂(当初)	アルバム掲載、備(224)	
02-44		長30	机卓台	楕円卓子(ペディスタル)	1	1330	920	780	タモ	1909	食堂(当初)	アルバム掲載、備(225)、ラベル「村井」「225」	
02-45	○	長31	机卓台	角卓子(壁際卓子)	1	1220	610	705	大理石	1909	食堂(当初)	備(220)、ラベル「村井」	
		長32	机卓台	書机	1	1820	840	745	チークカ	1909	書斎(当初)	アルバム掲載、備(226)	
02-46		長33	机卓台	花台	2	445	445	720	チーク、大理石	1909	夫人室(当初)	アルバム掲載、備(150)	

表1 家具の一覧

旧台帳 番号	市附 指定	新番号	種類	品名	数量	寸法(mm)			材料	様式及び特徴	年代	置場所(時期)	備考
						W	D	H					
02-47	○	長34	机卓台	花台	1	径 323	920	不明	不明	不明	北寝室(後)	備(197), ラベル「第一二九号寄木丸高台老個」	
02-48	○	長35	机卓台	彫刻台	1	775	455	サクラ	ルネサンス風, 国 産品	不明	不明	鏡板は後備	
02-49	○	長36	机卓台	彫刻台	1	500	500	大理石, 御影石	ねじり薄柱形, 輸 入品	1909	客間(後)	備(215)	
02-50	○	長37	机卓台	彫刻台	1	330	330	御影石	ねじり薄柱形, 輸 入品	1909	支那室(後)	備(215)	
02-51	○	長38	机卓台	彫刻台	1	300	300	大理石, 鉄(金メッ キ)	円柱形, 輸入品	1909	夫人室(当初)	アルバム掲載, 備(152)	
02-52	○	長39	収納	鏡付衣裳箆 高	1	1210	525	チーク	レイ16世風, 象 散, 輸入品	1909	東寝室(当初)	アルバム掲載, 備(159)	
02-54	○	長40	収納	鏡付複式衣 裳箆筒	1	2135	540	ブラジリアンロー ズ	輸入品	1909	西寝室(当初)	プ レ ー ト「MAPLE&Co TOTTENHAM COURTROAD LONDON」, 備(183)	
-				ガラス飾棚	1	1230	500	チーク	ロココ風	1909	客室(当初)		
02-55	○	長42	収納	帽子掛	1	2466	390	タモ, サクラ, サ ワラ	ルネサンス風, 国 産品	1909	玄関(当初)	備(219)	
02-56		長43	照明	六灯式ペン ダント	1	1880	1010	真鍮	-	不明	球戯室(後)	当初のものとは違う	
02-57	○	長44	容飾・沐浴	鏡付化粧台	1	1360	610	ブラジリアンロー ズ	輸入品	1909	南寝室(当初)	プ レ ー ト「MAPLE&Co TOTTENHAM COURTROAD LONDON」, アルバム掲載, 備(167)	
02-58	○	長45	容飾・沐浴	鏡付洗面台	1	1370	600	ブラジリアンロー ズ, 大理石, タイ ル	輸入品	1909	西寝室(当初)	プ レ ー ト「MAPLE&Co TOTTENHAM COURTROAD LONDON」, アルバム掲載, 備(185)	
02-59	○	長46	容飾・沐浴	鏡付化粧台	1	915	520	パーブルウッド	輸入品	1909	北寝室(当初)	プ レ ー ト「MAPLE&Co TOTTENHAM COURTROAD LONDON」, アルバム掲載, 備(194)	
02-62		長47	容飾・沐浴	タオル掛	1	685	370	チーク	上部に彫刻。脚部 に溝彫。	不明	西寝室カ		
02-63		長48	容飾・沐浴	タオル掛	1	930	235	不明	不明	1909	東寝室(当初)	アルバム掲載	
02-64		長49	雑	イーゼル	1	700	-	チーク	ロココ風, 輸入品	1909	客間カ(当初)		
02-66	○	長50	雑	室内装飾品	2	上475 台 730	710 650	唐木, 象牙	中国風, 中国住 宅・人はミニチュ アセット	不明	支那室カ		

表2 種類別家具の内訳

種類	品名	個数	合計
屏障	ファイアースクリーン	2	2
坐臥	長椅子	7	31
	二人用腰掛	1	
	S字椅子	1	
	肘掛椅子	4	
	回転椅子	1	
	袖付小椅子	2	
	小椅子	6	
	足置台	2	
	腰掛 (ウインドシート)	1	
	コーナー椅子	2	
	寝椅子	2	
	丸座肘掛椅子	1	
	寝台	1	
机卓台	角卓子	4	19
	小卓子	2	
	楕円卓子	2	
	書机	1	
	花台	6	
	彫刻台	4	
収納	衣裳箆笥	2	4
	ガラス飾棚	1	
	帽子掛	1	
照明	六灯式ペンダント	1	1
容飾・沐浴	鏡付化粧台	2	5
	鏡付洗面台	1	
	タオル掛	2	
雑	イーゼル	1	3
	室内装飾品	2	
			65

表3 家具配置の復元

	室名	品名	アルバム 中の有無	備品台帳	旧調査票番号	新番号
一階	玄関	帽子掛		219	02-55	長 42
	広間	仁王台	有	234	02-32	長 19
		腰掛			02-33	長 20
	応接室	机	有	216		
		椅子	有	217		
		花台	有	218		
	客間	ファイアースクリーン		205	02-01	長 1
		〃		205	02-02	
		長椅子	有	214	02-05	長 3
		〃	有	〃	02-06	長 3
		〃	有	〃	02-07	
		二人用腰掛	有	〃	02-08	長 4
		S字椅子	有	〃	02-09	長 5
		肘掛椅子	有	〃	02-10	長 6
		袖付小椅子		〃	02-11	長 7
		小椅子	有	〃	02-12	長 8
		〃	有	〃	02-13	長 8
		足置台	有	〃	02-14	長 9
		角卓子	有	212	02-37	長 23
		小卓子	有	211	02-38	長 24
	花台	有	208	02-39	長 25	
	〃		204	02-40	長 26	
	〃	有				
彫刻台	有					
ガラス飾棚	有	209		長 41		
食堂	楕円卓子	有	224	02-43	長 29	
	〃	有	225	02-44	長 30	
	角卓子		220	02-45	長 31	
	伸縮大食卓	有	221			
	黒革張食堂椅子	有	222			
書斎	書机	有	226		長 32	
	回転椅子	有	229		長 13	
	サイド椅子	有	227			
	小椅子	有	229	02-28		
	ファイアースクリーン	有				
撞球室	玉台	有	231			
	カウンター台			02-63	長 48	
	肘掛椅子	有	222			
	長椅子	有	223			
	小卓子	有				
二階	支那室 (喫煙室)	茶卓子	有			
		長椅子	有		02-34	長 21
		長椅子	有			
		肘掛椅子	有			
		敦	有			
		丸卓子	有			
	彫刻台	有	215	02-50	長 37	
室内装飾品			02-66	長 50		
南寝室 (東南客室)	鏡付化粧台	有	167	02-57	長 44	
	椅子	有	173			
	丸卓子	有	175			

表3 家具配置の復元	品名	アルバム中の有無	備品台帳	旧調査票番号	新番号
二階 東寝室 (東客室)	ファイアースクリーン		142	02-04	
	鏡付衣裳箆筒	有	159	02-52	長 39
	寝椅子	有			
	肘掛椅子	有	163	02-26	
	寝台	有	158	02-35	長 22
	手拭掛	有		02-65	
	花台	有	157		
	便器箱	有	168		
	椅子	有	163		
	丸卓子	有	164		
洗面台	有	160			
北寝室 (美術室)	鏡付衣裳箆筒		193	02-53	
	角卓子		196	02-41	長 27
	花台		197	02-47	長 34
	鏡付化粧台		194	02-59	長 46
	洗面台		198	02-60	
夫人室 (貴婦人室)	木瓜形台	有	153		
	椅子	有	156		
	楕円卓子	有	154		
	ファイアースクリーン			02-03	長 2
	腰掛	有	155	02-15	長 10
	小椅子		"	02-16	
	コーナー椅子		"	02-17	長 11
	肘掛椅子	有	"	02-18	長 12
	花台	有	150	02-46	長 33
	彫刻台	有	152	02-51	長 38
	ピアノ	有	148		
	棚	有	147		
机	有	149			
西寝室 (西南客室)	長椅子	有			
	"	有			
	便器箱		182		
	鏡付衣裳箆筒		183	02-54	長 40
	寝台	有	181	02-36	
	"	有	"		
	寝椅子		191	02-19	長 14
	小椅子		"	02-22	
	小椅子(背)		"	02-23	
	丸座肘掛椅子		"	02-21	長 16
	肘掛椅子		"	02-20	長 15
	"	有	190	02-30	
	洗面台		185	02-58	長 45
卓子	有	186			
タオル掛	有		02-64	長 49	
広間	椅子	有			
縁側 (開廊)	卓子	有	179		
	椅子	有	"		
露台	椅子	有	202		
	卓子	有	"		

表4 備品台帳より作成した室別家具リスト

室名は大正期の図面を基本とし、備品台帳の室名は()とした。

○印は現存、△印は写真にあるもので、数字は現存個数。

室名	番号	品名	個数 (備品台帳)	附属
階段	144	海浜夕陽古城油絵額		
"	145	山上ヨリ島ヲ望ム油絵額		
"	146	紫檀唐草彫椅子	2	
東寢室	141	金塗天使彫椽鏡		
"	142	刺繍有織模様裂張金塗竹椽衝立		
"	143	△ 刺繍唐草模様三枚折		
"	157	△ 大理石花鉢台		
"	158	○ 寄木金縷絡飾付寢台		
"	159	○ 寄木金縷絡飾鏡付洋服棚		
"	160	△ 寄木甲大理石洗面台		
"	161	△ 木地縷絡彫机		
"	163	△ 緞子花唐草模様裂地白塗椅子腰掛取交	5	
"	164	△ 白塗金縷絡丸卓		
"	168	寄木縷絡彫便器箱		便器添
夫人室	147	△ 木地縷絡彫飾棚		
"	148	△ ピアノ		腰掛添
"	149	△ 前鏡付机		
"	150	○2 甲大理石縷絡彫飾高台	2	
"	151	甲大理石縷絡彫高台		
"	152	○ 甲大理石金塗丸台		
"	153	△ 木地縷絡彫木瓜形台		
"	154	△ 木地縷絡小判形卓		
"	155	○3 緞子草花模様裂張椅子腰掛取交ゼ	9	足掛1添
"	156	△ 金塗藤張椅子	2	
"	177	茶地花唐草模様緞子張衝立		
各室	162	ニス塗紅茶	3つ組4組	
"	172	△ 帽子掛	3	
南寢室	165	△ 寄木甲大理石洗面台		
"	166	△ 寄木寢台		
"	167	○ 寄木前鏡付化粧台		
"	169	△ 寄木丸高台		
"	170	△ 寄木便器箱		便器添
"	171	△ 寄木前鏡付衣裳棚		
"	173	刺繍縷絡模様裂張椅子	2	
"	174	△ 寄木唐張椅子		
"	175	寄木丸卓		
2階広間	176	単地縷絡模様緞子張金縷絡飾付椅子	6	
"	178	朱塗牡丹鳳凰蒔絵三角飾棚		
2階露台・温室	179	藤張椅子	6	
"	"	藤張四方卓	2	
"	180	天然木椅子		
西寢室	181	渡金寢台	2	
"	182	寄木便器箱		便器添
"	183	○ 寄木縷絡飾鏡付大衣架棚		
"	184	寄木縷絡飾付飾硝子箱		
"	185	○ 寄木縷絡模様化粧台		手拭掛添
"	186	甲羅紗唐草雲彫机		
"	187	白大理石花鉢台		
"	188	甲大理石金縷絡飾付丸卓		
"	189	白塗金縷絡飾付丸卓		
"	190	白塗金縷絡飾付花唐草緞子裂張安楽椅子	2	
"	191	花唐草模様裂張椅子取交	9	

表4 備品台帳より作成した室別家具リスト

室名	番号		品名	個数 (備品台帳)	附属
北寝室	192		縹絡彫寝台	2	
"	193		前鏡付衣装棚		
"	194	○	前鏡付化粧台		
"	195		便器箱		便器添
"	196	○	木地塗長角卓		
"	197	○	寄木丸高卓		
"	200		白塗金縹絡飾付裂張寝椅子		
"	201		前黄列張二枚折		
露台 (支那室前廊下)	202	△	籐安楽椅子	2	
"	"		籐四方卓	1	
支那室	203		青大理石花鉢台		
客間 (バーラ)	204	○2	甲大理石金縹絡飾付四方台	2	
"	205	○1	唐草模様裂張縹絡飾付衝立	2	
"	206		渡金透彫椽三重台	2	
"	207	△	甲色絵象嵌石金塗丸台		
"	208	○1	甲大理石金縹絡飾付角高台		
"	209	△	金縹絡飾付硝子飾箱		
"	210		六角台		
"	211	○2	甲嵐羅紗張金縹絡飾付角机	2	
"	213		唐草模様硝子嵌込裂張金縹絡飾付三枚折		
"	214	○1 4	花唐草緞子張金縹絡飾付腰掛椅子取交	16	足掛2個添
"	215	○	青大理石捻高台		
応接室	216	△	寄木市松机		
"	217	△	海老茶羅紗張椅子取交	6	
"	218	△	甲大理石木地塗四方高台		
玄関	219	○	鏡付大帽子掛		
食堂	220	○1	甲大理石長角机		
"	221	△	伸縮大食卓		
"	222	△	黒皮張椅子、同安楽椅子、同長椅子	34	球戯室(玉突室)10、食堂24
"	223		甲大理石台		
"	224	○1	小判形卓		
"	225	○1	小判形一本足ノ卓		
書斎	226	○1	唐草彫甲皮張事務卓		
"	227		木地四方台		
"	228		唐草彫一本足丸台		
"	229	△	黒皮張安楽椅子取交ぜ	6	
球戯室(玉突室)	230		白塗金飾付長角大卓		
"	231		玉台		玉4個、棒12本、ゲーム台その他一式添
"	232		カード台		
"	233		鍍金金塗台		
1階広間 仁王置物台	234	△	縹絡彫長角飾台	2	
	235		外国製青曇硝子捻一輪生		同小鉢添
	236		外国焼草花絵緑籠透果実鉢	大小2	

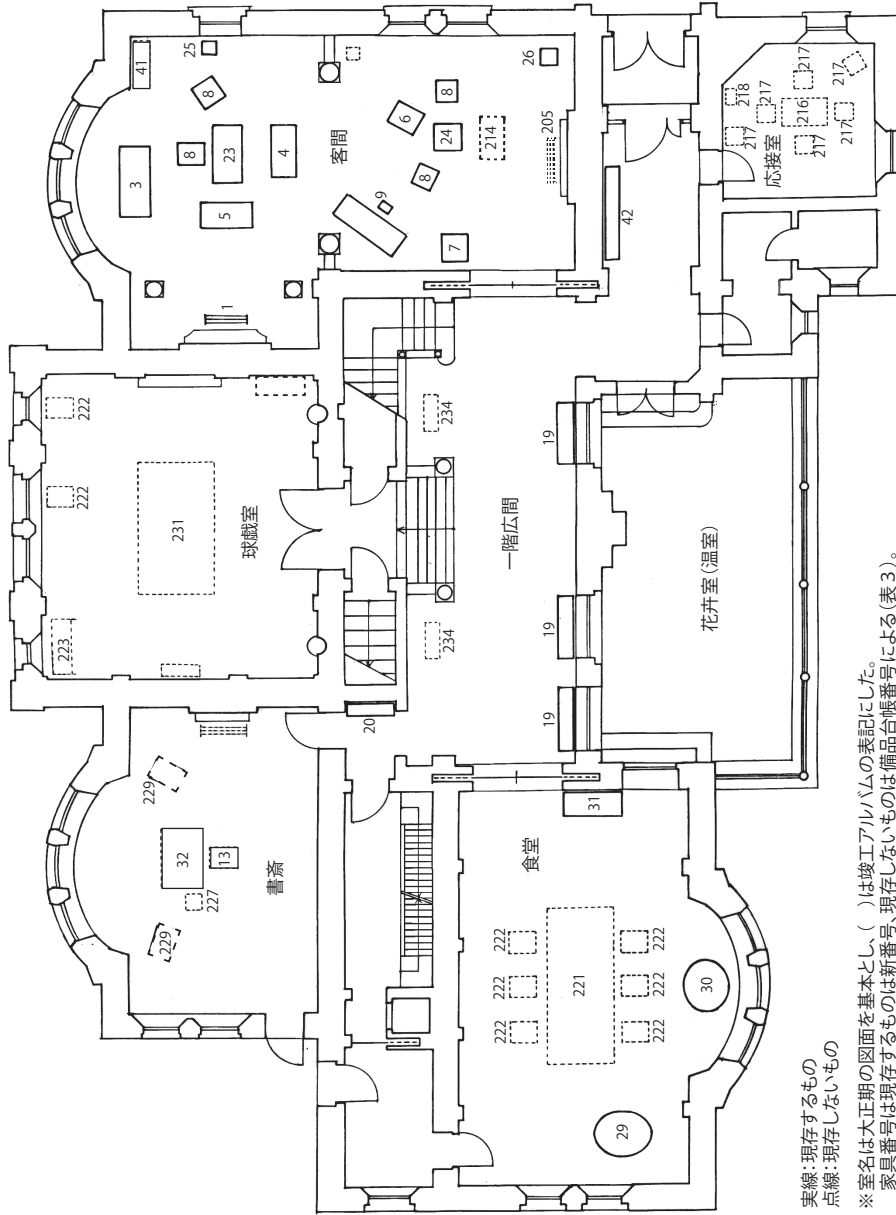
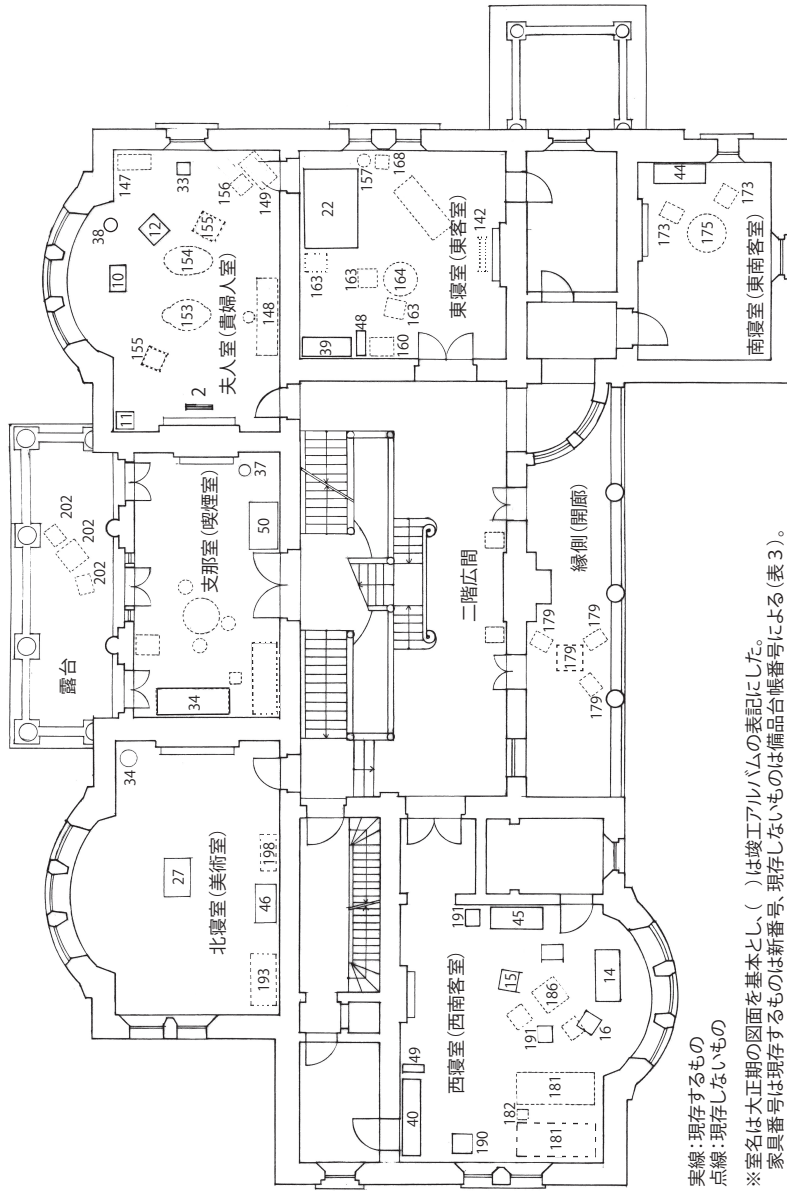


図1 家具配置復元図(当初) 1階



実線：現存するもの
点線：現存しないもの

※ 室名は大正期の図面を基本とし、()は竣工アルバムの表記にした。
家具番号は現存するものは新番号、現存しないものは備品台帳番号による(表3)。

図2 家具配置元原図(当初) 2階

家具写真



長1 ファイアースクリーン



長2 ファイアースクリーン



長3 長椅子



長4 二人用腰掛



長5 S字椅子



長6 肘掛椅子



長7 袖付椅子



長8 小椅子



長9 足置台



長10 腰掛 (ウインドシート)



長11 コーナー椅子



長12 肘掛椅子 (ベルジェール)



長13 回転椅子



長14 寝椅子



長15 肘掛椅子



長16 丸座肘掛椅子



長17 寝椅子



長18 小椅子



長19 長椅子



長20 長椅子



長21 長椅子



長22 寝台



長23 角卓子



長24 小卓子



長25 花台



長26 花台



長27 角卓子



長28 角卓子



長29 楕円卓子



長30 楕円卓子 (ペディスタル)



長31 角卓子 (壁際卓子)



長32 書机



長33 花台



長34 花台



長35 彫刻台



長36 彫刻台



長37 彫刻台



長38 彫刻台



長39 鏡付衣裳箆筒



長40 鏡付複式衣裳箆筒



長41 ガラス飾棚



長42 帽子掛



長43 六灯式ペンダント



長44 鏡付化粧台



長45 鏡付洗面台



長46 鏡付化粧台



長47 タオル掛



長48 タオル掛



長49 イーゼル



長50 室内装飾品